

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和2年12月17日

協議会名:東広島市地域公共交通会議

評価対象事業名:地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
中国ジェイアールバス株式会社	市街地循環線の運行(2系統) ①内回り ②外回り	路線沿線の協力店舗と連携して公共交通利用のイベントを実施し、利用促進を図った。	A	計画通り事業は適切に実施された。	B 1便あたりの平均利用者数は9.9人であり、目標の12.9人を達成できなかった。	新型コロナウイルス感染症の影響により、4,5月の利用者数が前年度比55%程度と大幅に減少し、以後戻りつつあるものの、前年度比80%程度の利用者数にとどまっている。今後は、新しい生活様式を踏まえた目標値設定を検討するとともに、路線沿線の協力店舗と連携して周知活動を行い、公共交通の利用促進を図っていく。
芸陽バス株式会社	市街地循環線の運行(2系統) ①内回り ②外回り	路線沿線の協力店舗と連携して公共交通利用のイベントを実施し、利用促進を図った。	A	計画通り事業は適切に実施された。	B 1便あたりの平均利用者数は9.9人であり、目標の12.9人を達成できなかった。	新型コロナウイルス感染症の影響により、4,5月の利用者数が前年度比55%程度と大幅に減少し、以後戻りつつあるものの、前年度比80%程度の利用者数にとどまっている。今後は、新しい生活様式を踏まえた目標値設定を検討するとともに、路線沿線の協力店舗と連携して周知活動を行い、公共交通の利用促進を図っていく。
中国ジェイアールバス株式会社	黒瀬地域におけるフィーダーバスの運行(6系統) ①洪・長貫～ショージ～黒瀬支所線 ②洪・長貫～黒瀬支所線 ③八畝ヶ畑～黒瀬支所線 ④洋国団地～黒瀬支所線 ⑤檜原～黒瀬支所線 ⑥上条～黒瀬支所線	地元運行協議会による利用状況調査を実施して利用者ニーズを把握した。調査結果をもとに既存ルート上にバス停を新設し、利便性の向上を図った。	A	計画通り事業は適切に実施された。	A 1日あたりの平均利用者数は22.5人で、目標の21.5人を達成した。	利用者を確保するため、引き続き地元運行協議会による利用者ニーズ調査を実施し、その結果を運行内容へ反映させていく。

## 事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和2年12月17日

協議会名:	東広島市地域公共交通会議
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>東広島市は、広島県の中央に位置し、面積635.32km<sup>2</sup>、人口192,907人(H27国勢調査)の都市である。</p> <p><b>【西条地域】</b> 西条地域は官公庁、大学、病院、商業施設などの様々な施設が集積しており、今後の本市の発展を牽引する地域として、JR西条駅を中心に都市機能強化に向けた取り組みを推進しており、こうした施設を結ぶ交通ネットワークの構築を進める必要がある。</p> <p>また、中心市街地へは比較的近隣から来ている(来街者の約5割は3km圏内)ことを考慮し、中心市街地へのアクセシビリティや回遊性の向上のため、中心市街地の賑わい創出に寄与する公共交通として、平成29年10月から当該地域の主要施設を結ぶ循環バスを新たに運行している。</p> <p><b>【黒瀬地域】</b> 黒瀬町は東広島市の南部に位置し、幹線道路を路線バスが運行しているものの、周辺の住宅地は交通不便地域となっている状況から、交通不便地域を解消し、地域住民の日常生活の移動手段の確保と、地域間幹線系統との接続による広域的な移動手段の確保を目的として、地域を運行主体とした、フィーダー系統を平成26年6月23日から運行している。</p>

# 令和2年度 地域公共交通確保維持改善事業 事業評価

## 東広島市地域公共交通会議

### 地域内フィーダー系統確保維持計画(地域内フィーダー系統)の概要



#### 東広島市の概要

- ・平成17年2月に1市5町が合併
- ・人口 192,907人(平成27年度国勢調査)
- ・面積 635.32km<sup>2</sup>

#### 東広島市地域公共交通会議の構成員

広島県 東広島市 西日本旅客鉄道(株) 芸陽バス(株)  
 中国ジェイアールバス(株) 広島電鉄(株) 広島県タクシー協会  
 市民代表 学識経験者 広島運輸支局 東広島警察署

#### 概 要

##### 【西条地域】

西条地域は官公庁、大学、病院、商業施設などの様々な施設が集積しており、今後の本市の発展を牽引する地域として、JR西条駅を中心に都市機能強化に向けた取り組みを推進しており、こうした施設を結ぶ交通ネットワークの構築を進める必要がある。また、中心市街地へは比較的近隣から来ている(来街者の約5割は3km圏内)ことを考慮し、中心市街地へのアクセシビリティや回遊性の向上のため、中心市街地の賑わい創出に寄与する公共交通として、平成29年10月から当該地域の主要施設を結ぶ循環バスを新たに運行している。

##### 【黒瀬地域】

黒瀬町は東広島市の南部に位置し、幹線道路を路線バスが運行しているものの、周辺の住宅地は交通不便地域となっている状況から、交通不便地域を解消し、地域住民の日常生活の移動手段の確保と、地域間幹線系統との接続による広域的な移動手段の確保を目的として、地域を運行主体とした、フィーダー系統を平成26年6月23日から運行している。

#### 協議会の主な取り組み

- ・交通空白地域におけるフィーダー交通の導入
- ・地域公共交通網形成計画の策定及び実施に関すること
- ・地域公共交通再編実施計画の策定及び実施に関すること

#### 協議会における検討

- 協議会の開催状況 (3回開催)
- ・令和2年6月9日 地域内フィーダー系統確保維持計画(R3~R5)について、地域公共交通網形成計画の一部修正について(書面審議)
- ・令和2年11月12日 黒瀬さくらバスの停留所の新設及び経路変更等について、令和元年度東広島市地域公共交通会議決算の承認について(書面審議)
- ・令和2年12月9日 西条市街地循環バス「のんバス」の停留所の新設について、事業評価について

# 東広島市地域公共交通会議 事業の評価

## 定量的な目標・効果

### 【西条地域】

西条市街地循環バス

(目標)

1便当たり平均利用者数を12.9人以上とする

(効果)

- ・ニーズの高い施設への公共交通でのアクセス性向上
- ・中心市街地の賑わい創出
- ・都市の健全な発展と秩序ある整備につながる交通網の構築

※車両減価償却費補助:補助対象車両数1台

### 【黒瀬地域】

黒瀬地域内フィーダー系統

(目標)

1日当たり平均利用者数を21.5人以上とする  
(運行委託費に地元負担が生じないための利用人数)

(効果)

- ・交通不便地域の解消 ・買い物弱者支援
- ・医療施設への移動手段の確保
- ・外出機会が増えることによる高齢者の健康増進、生きがい創出

※車両減価償却費補助:補助対象車両数1台

## 昨年度の自己評価に対するフォローアップ

### 【西条地域】

「路線沿線の協力店舗と連携した利用促進策を実施する」とした点については、路線沿線の協力店舗と連携して公共交通利用促進イベントを実施し、利用促進を図った。

### 【黒瀬地域】

「地域のニーズに応じた改善を実施する」とした点については、地元運行協議会による利用状況調査を実施して利用者ニーズを把握した。調査結果をもとに既存ルート上にバス停を新設し、利便性の向上を図った。

## 実施した利用促進策

### 【西条地域】

・路線沿線の商業施設等を掲載したバスのガイドブックを更新・配布した。  
・公共交通を利用して近隣施設へ行くスタンプが押せるスタンプラリーイベントを協力店舗と連携して実施した。

### 【黒瀬地域】

・地元運行協議会が主体となって地域の高齢者に直接働きかけ、路線図・時刻表等の配布・PR活動を実施した。  
・地域行事において、車両を展示するとともに、路線図・時刻表等を配布・PR活動を実施した。

## 昨年度の運輸局二次評価に対するフォローアップ

### 【西条地域】

「住民のニーズに応じた運行内容の検討や、地域と連携した利用促進の取組を進めることを期待します。」という点については、路線沿線の協力店舗と連携して公共交通利用促進イベントを実施し、利用促進を図った。

### 【黒瀬地域】

「ニーズに対応した運行内容の見直しや周知活動等の利用促進に取り組むことを期待します。」という点については、地域住民の意見を反映して運行内容を変更し、利用実態や地域の声に合わせた運行とした。

## 地域住民の意見の反映

### 【西条地域】

地元住民からバス停新設の要望があった箇所について、一定の利用ニーズがあると判断できたため、新規バス停を設置するための関係者協議を行った。

### 【黒瀬地域】

運行主体を地元運行協議会としており、運行ルート、ダイヤについては、地域住民の意見を取り入れたものとなっている。  
※地元運行協議会は、住民自治組織を母体としている。

## 事業実施の適切性

### 【西条地域】

地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金  
・計画どおり実施されている。

車両減価償却費等国庫補助金  
・計画どおり実施されている。

### 【黒瀬地域】

地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金  
・計画どおり実施されている。

車両減価償却費等国庫補助金  
・計画どおり実施されている。

## 目標・効果達成状況

### 【西条地域】

#### （目標）

1便当たりの平均利用者数は9.9人で、目標12.9人以上を達成できなかった。

#### （効果）

ニーズの高い施設への公共交通でのアクセス性が向上し、地域住民の日常生活の移動手段として活用されている。

### 【黒瀬地域】

#### （目標）

1日当たりの平均利用者数は22.5人で、目標21.5人以上を達成できた。

#### （効果）

地域の公共交通空白地域が解消され、特に高齢者の生活（買物・通院）の移動手段として活用されている。

## 事業の今後の改善点

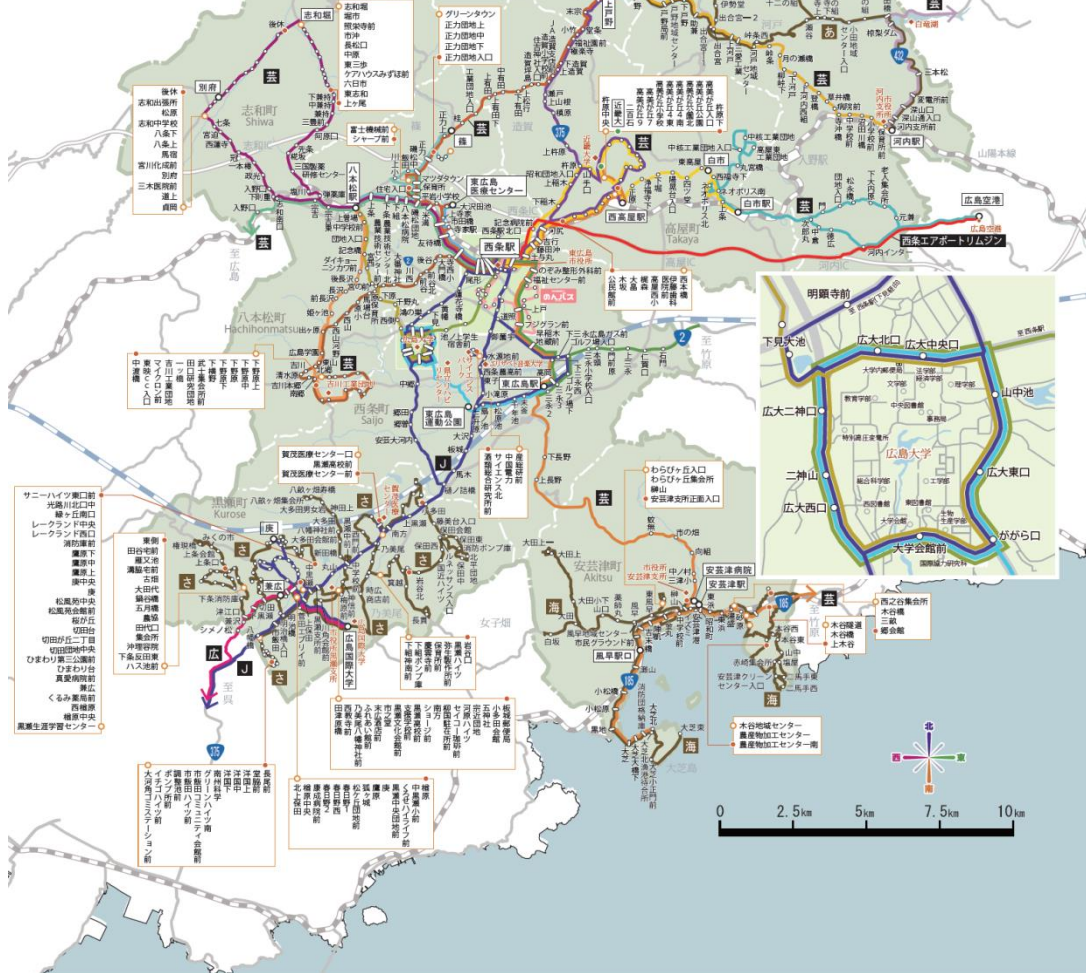
### 【西条地域】

新しい生活様式を踏まえた目標値設定を検討するとともに、路線沿線の協力店舗と連携して周知活動を行い、公共交通の利用促進を図っていく。

### 【黒瀬地域】

利用者を確保するため、引き続き地元運行協議会による利用ニーズ調査を実施し、その結果を運行内容へ反映させていく。

# 交通体系図 別紙



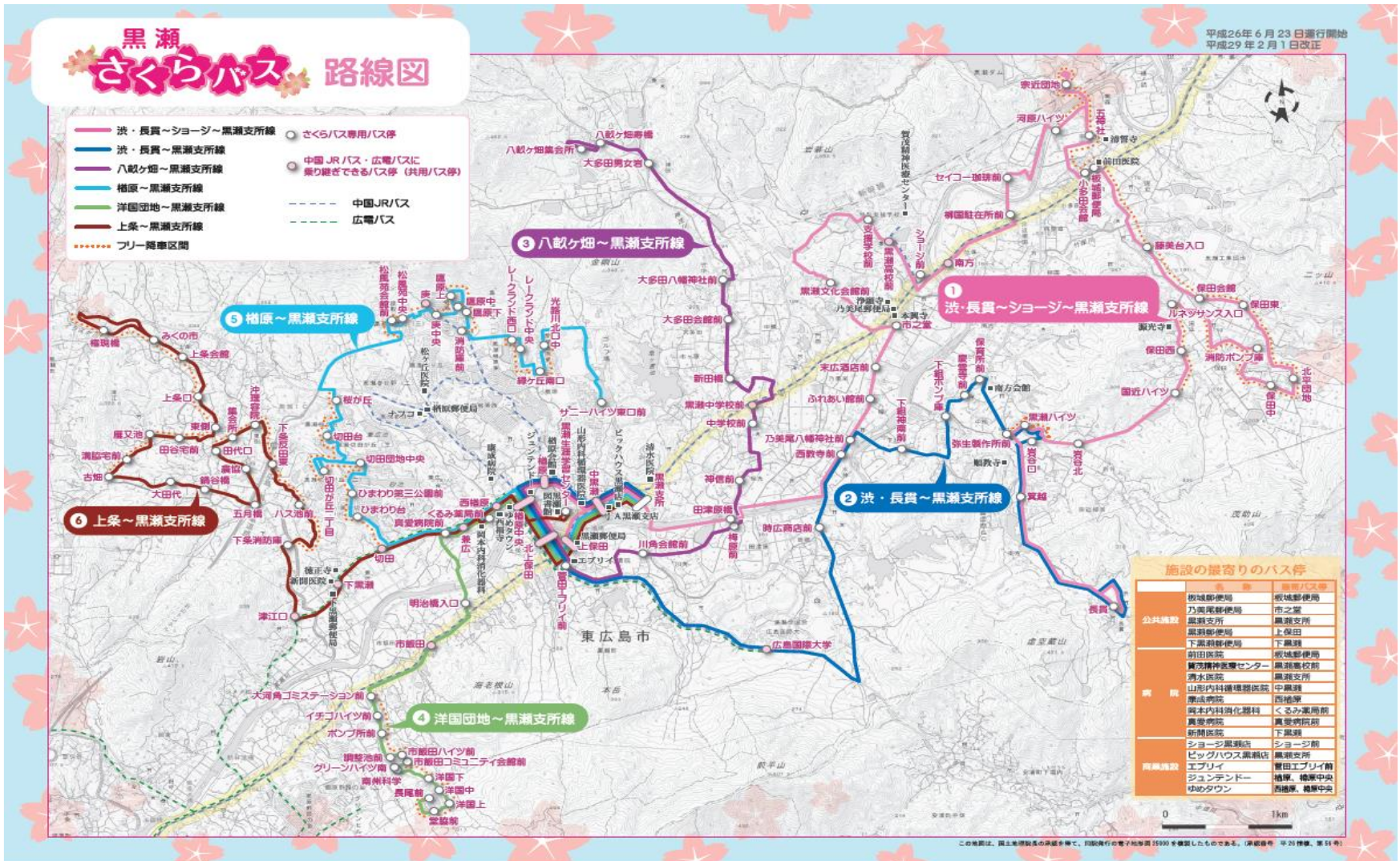
# 運行系統図 別紙

系統名 ① 渋・長貴～ショージ～黒瀬支所線、② 渋・長貴～黒瀬支所線、③ 八畝ヶ畑～黒瀬支所線、④ 洋国団地～黒瀬支所線、⑤ 楳原～黒瀬支所線、⑥ 上条～黒瀬支所線

運行形態 4条路線、乗合バス型(定期)

運行日・便数 月曜日④⑤系統、火曜日②⑥系統、水曜日①系統、木曜日③⑥系統、金曜日④⑤系統 各系統1日4便

運賃 一律200円(小児割引、障害者等は100円、乳児は無料)



# 運行系統図 別紙

系統名 ①赤ルート②青ルート

運行形態 4条路線、乗合バス型(定期)

運行日・便数:①赤ルート1日24便 ②青ルート1日24便

運賃 一律200円(小児割引、障害者等は100円、乳児は無料)

## 路線図

〈バス停の凡例〉

- ◎ バス停 (両ルート)
- バス停 (赤ルートのみ)

西条駅 バス停名

〈矢印の凡例〉

- ① 赤ルート (外回り)
- ② 青ルート (内回り)

### ① 赤ルート(外回り)専用のバス停について

「5福祉センター前」バス停のみ、①赤ルート(外回り)専用のバス停となっています。②青ルート(内回り)ご利用の場合は停車しませんので、「4のぞみ整形外科前」または「6浄福寺橋」でお降りください。



広島大学

ゆめタウン学園店

東広島市立中央図書館

17 東広島市立中央図書館

18 三ツ城古墳前

19 西条中央七丁目

20 江熊西

21 西条小学校前

22 石ヶ瀬橋

23 西条昭和町

サンスクエア児童青少年図書館

東広島芸術文化ホールくらら

JR寺家駅

鏡山公園

フジグラン東広島

15 西条中央五丁目

16 西条中央六丁目

13 上戸

フレスタ西条店

14 西条中央三丁目

9 城信

10 賀茂ボール前

賀茂ボール・ホットカモ

11 松賀中学校校入口

7 円城寺北

8 円城寺南

6 浄福寺橋

5 福祉センター前

4 のぞみ整形外科前

① 赤ルート(外回り)

② 青ルート(内回り)

3 ゆめタウン東広島前

2 中央公園前

1 西条駅

赤ルート(外回り)・青ルート(内回り)共に西条駅が終点だよ!

西条IC

山陽自動車道

329

375

486

JR山陽本線

